

京都伝統文化の森推進協議会 平成 21 年度年間活動計画

平成 21 年度については、「京都伝統文化の森推進協議会」の趣旨に基づき、東山での森づくりを通して、人と森とのつながりを復活させるため、広く市民等に東山に関する情報を発信するとともに、市民等が実際に東山の森林に入り、森林の現況や課題等を把握することによって、より多くの市民、企業、民間団体等の協議会事業への参画を推進していく。

具体的な活動内容は以下の通り。

1 文化的価値発信事業

- 「東山風景林」の文化的価値を整理する。
 - ・ 専門委員による、東山の文化や歴史についての資料収集・情報整理（古絵図や昔の風景の写真の募集等）
- 協議会の活動に関する広報活動を展開する。
 - ・ ホームページの運営
 - ・ 関係者へニュースレター等の配布
 - ・ 水の都おおさか森林の市 2009 への出展

2 森林整備・景観対策事業

- 東山風景林整備のための中期的な整備計画について検討する。
- 森林整備実施要領を作成するための技術資料を取りまとめる。
 - ・ 歩掛り等の調査
- 森林整備モデル事業の実施
 - ・ 平成 20 年度清水山国有林林相改善事業のモニタリング
 - ・ 清水山国有林稜線部景観改善のための間伐及び補植事業
 - ・ 高台寺山国有林コジイ大径木の伐採及び補植事業
 - ・ 高台寺山国有林における連携組織との協議
 - ・ 南禅寺山国有林のヒノキ劣勢木の間伐及び林床整理事業
- 森林整備モデル事業の現地見学会
- コジイ及びカシノナガクイムシ被害処理木の搬出・利用モデル事業の実施
 - ・ コジイを木材として小学校等で活用することに向けた搬出・製材・乾燥の実施
 - ・ カシノナガクイムシ被害処理木の搬出・活用
- 東山の森林の現状や課題等に関するセミナーを実施する。
 - ・ 第 4 回は高田先生，第 5 回は二井先生，第 6 回は高桑先生による講演。
- 京都伝統文化の森推進協議会の役割及び事業範囲について検討する。
 - ・ 東山における森林整備事業を基礎とし，市内全体について検討開始
 - ・ 京都市が取り組む鴨川流域の森林整備，地域性苗木の生産体制整備等に対する助言

3 文化的価値発信及び森林整備・景観対策合同事業

- 「東山風景林」の文化的価値発信及び森林整備・景観対策に関するシンポジウムの開催
 - ・「森に学び，森で学ぶ」（目的 森林と人のつながり，自然との共生を見直す）
基調講演 山折会長
パネルディスカッション 田中委員，山折会長，浜田久美子氏，森孝之氏，久山慶子氏

- 市民参加による森林整備活動，森林文化に触れる活動を実施する。
 - ・林内の遊歩道における危険箇所の補修，市民による東山風景林の清掃活動 等
 - ・カシノナガキクイムシ被害処理木を使った薪割り，種子拾いとシイの実ご飯 等